

【2020年卒 TOPIC】

就職活動に使った金額、交通費・宿泊費が地域間で最大約10万円の差
学生の費用・時間的負担の軽減が望まれる

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林 大三）のよりよい就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、大学生・大学院生を対象に調査を実施しております。本リリースでは、「就職プロセス調査（2020年卒）内定状況（2019年7月1日時点）」にて聴取した「就職活動にかかった金額」についてレポートいたします。

説明会・面接のWebへの切り替えを、学生の費用・時間的負担軽減につなげる機会に



所長 増本 全

今回は学生が就職活動に使用した金額についてレポートします。2020年卒学生が就職活動に使用した金額は平均して、128,890円でした。これは、2017年卒の170,960円と比べて少なくなっています。就職活動にかかる金銭面での学生の負担は減ってきているといえるでしょう。しかし、地域間での差が大きく、特に交通費・宿泊費の合計金額については最も低い関東と最も高い九州で約10万円の差があります。交通費・宿泊費といった費用だけでなく、移動時間も学生の負担になっています。新型コロナウイルス感染症の影響で、企業が説明会・面接をWebに切り替えるケースが増加。想定がされていなかった形であれ、Web上のコミュニケーションの伸展によって学生の負担がどのように変化し、新たな機会がどう生まれていくのか注視していきたいと考えています。

交通費・宿泊費にかかった合計の平均金額

大学生_全体（就職志望者のうち交通費、宿泊費のどちらも「1円」以上使用した学生 / 実数回答）※大学院生除く

(円)

		交通費・宿泊費にかかった合計の平均金額
全国		124,331
地域別	北海道・東北	142,876
	関東	85,933
	中部	110,398
	近畿	102,964
	中国・四国	165,087
	九州	188,230

就職活動全体にかかった平均金額

就職活動全体にかかった金額の平均は128,890円、最も高かった地域は「九州」で156,989円

- ・就職志望者のうち、就職活動全体にかかった金額の平均は128,890円だった。
- ・地域別に見ると、最も高かったのは「九州」で156,989円、次いで「北海道・東北」で140,861円。最も低かったのは「関東」で117,374円であった。

就職活動全体にかかった平均金額

大学生_全体（就職志望者のうち就職活動に「1円」以上を使用した学生 / 実数回答）※大学院生除く

(円)

		就職活動全体にかかった平均金額
全国		128,890
地域別	北海道・東北	140,861
	関東	117,374
	中部	132,900
	近畿	131,201
	中国・四国	139,967
	九州	156,989

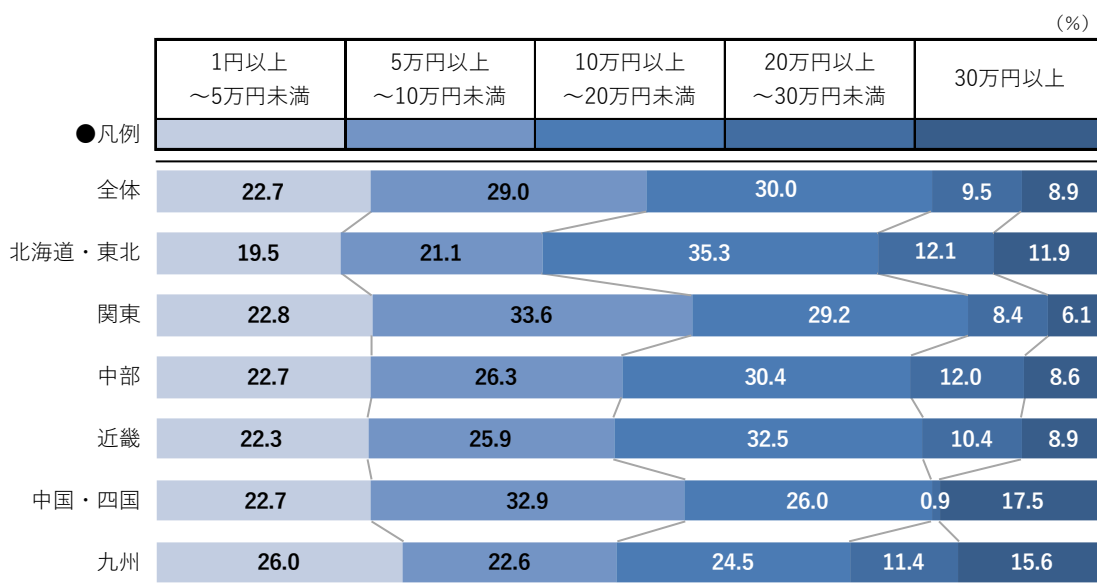
就職活動にかかった金額

3割の学生は10万円以上～20万円未満の金額が就職活動にかかる

- ・就職志望者のうち、就職活動全体にかかった金額で最も多かったのは「10万円以上～20万円未満」であった。
- ・地域別に見ると「北海道・東北」「中部」「近畿」「九州」は「10万円以上～20万円未満」が最も高かった。「関東」「中国・四国」は「5万円以上～10万円未満」が最も高かった。

就職活動にかかった金額

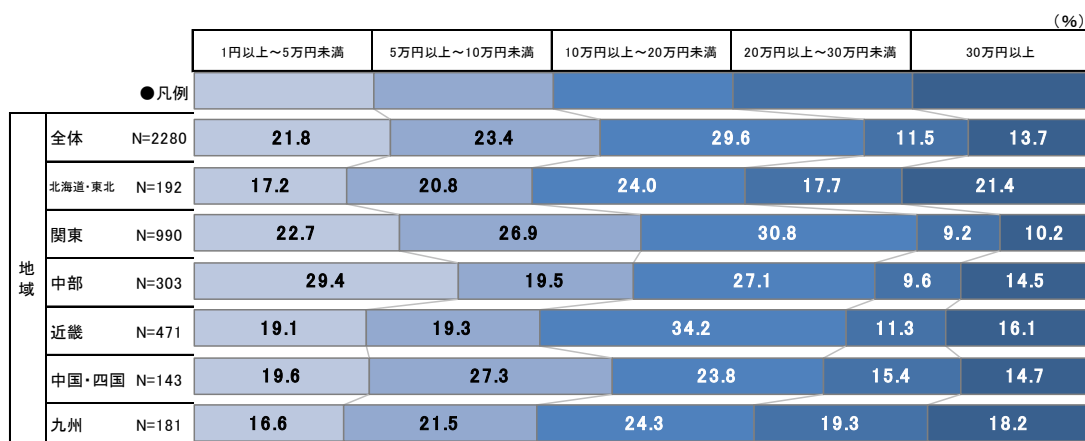
大学生_全体（就職志望者のうち「1円」以上を使用した学生/実数回答）※大学院生除く



参考データ

就職活動にかかった総額（2017年卒）

「1円」以上を使用した学生/実数回答



※ 出典「就職白書2017」

交通費・宿泊費にかかった合計の平均金額、保護者からの援助を受けた金額

交通費・宿泊費にかかった合計の平均金額は124,331円

- ・交通費・宿泊費にかかった合計の平均金額は124,331円であった。地域別に見ると最も高かったのは「九州」で188,230円、最も低かったのは「関東」で85,933円であった。
- ・保護者からの援助を受けた金額の平均金額は65,538円であった。地域別に見ると最も高かったのは、「北海道・東北」で99,079円。最も低かったのは「関東」で58,152円であった。

交通費・宿泊費にかかった合計の平均金額 ※再掲

大学生_全体（就職志望者のうち交通費、宿泊費のどちらも「1円」以上使用した学生 / 実数回答）※大学院生除く

(円)

		交通費・宿泊費にかかった 合計の平均金額
全国		124,331
地域別	北海道・東北	142,876
	関東	85,933
	中部	110,398
	近畿	102,964
	中国・四国	165,087
	九州	188,230

保護者からの援助平均金額

大学生_全体（就職志望者のうち保護者から金銭的援助を受けた学生 / 実数回答）※大学院生除く

(円)

		保護者からの 援助平均金額
全国		65,538
地域別	北海道・東北	99,079
	関東	58,152
	中部	63,620
	近畿	72,097
	中国・四国	67,604
	九州	59,502

※ 2020年卒：2019年12月1日時点調査

地域別に見る就職活動費用の内訳

「交通費」「宿泊費」ともに最も高かった地域は「九州」

- ・「交通費」の平均金額は49,467円、最も高かった地域は「九州」で79,383円であった。
- ・「宿泊費」の平均金額は27,059円、最も高かった地域は「九州」で48,632円であった。

就職活動費用の内訳

大学生_全体（平均金額の集計対象：各項目で「1円」以上を使用した学生 / 実数回答）※大学院生除く
（使用率：「1円」以上を使用した学生 / それぞれ単一回答）

※ 項目ごとの平均額のため、各項目の合計は総額とは一致しない（平均金額：円 使用率：%）

	交通費	被服費	宿泊費	飲食費	書籍費	公務員試験 対策費	スキルアッ プ費用	
N	1367	1205	286	1215	878	152	400	
平均金額	49,467	36,869	27,059	12,488	5,697	105,195	23,847	
使用率	98.2	86.6	20.5	87.3	63.1	10.9	28.7	
地域別	北海道・東北	68,624	37,323	25,416	12,415	5,220	65,696	13,599
	関東	37,157	38,661	17,425	13,178	6,205	130,546	25,432
	中部	49,593	36,827	21,821	10,546	4,805	103,627	23,433
	近畿	51,739	34,875	22,608	12,823	6,011	80,646	26,878
	中国・四国	70,990	32,141	37,746	14,362	4,533	108,267	13,039
	九州	79,383	35,649	48,632	10,848	5,017	112,169	19,140

参考データ

就職活動にかかった費用（2017年卒）

平均金額の集計対象：各項目で「1円」以上を使用した学生 / 実数回答
使用率：「1円」以上を使用した学生 / それぞれ単一回答

※ 項目ごとの平均額のため、各項目の合計は総額とは一致しない（平均金額：円 使用率：%）

	交通費	被服費	宿泊費	飲食費	書籍費	公務員試験 対策費	スキルアッ プ費用	
N	2149	1964	528	1830	1397	335	250	
平均金額	49,277	40,813	29,918	14,179	6,924	77,441	28,483	
使用率	93.8	85.7	23.1	79.7	60.9	14.6	10.9	
地域別	北海道・東北	70,748	39,569	34,345	16,537	6,529	98,385	76,211
	関東	36,919	40,448	22,351	14,689	6,862	76,166	25,407
	中部	52,259	37,256	30,511	11,469	6,438	44,963	55,301
	近畿	51,728	44,671	24,614	14,728	7,184	88,006	19,319
	中国・四国	71,461	43,862	32,392	10,981	6,803	51,183	13,467
	九州	68,222	37,243	38,759	14,254	7,773	97,533	12,459

※ 出典「就職白書2017」

調査概要

- 調査目的 | 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する
調査方法 | インターネット調査
集計方法 | 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

2020年卒：2019年7月1日時点

- 調査対象 | 2020年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2020』（※）にて募集した調査モニターに登録した学生6,395人（内訳：大学生5,267人/大学院生1,128人）
調査期間 | 2019年7月1日～7月8日
集計対象 | 大学生 1,584人/大学院生 503人
※リクナビ：株式会社リクルートキャリアが運営している、就職活動を支援するサイト
<https://job.rikunabi.com/2020/>

2020年卒：2019年12月1日時点

※ P4下部『保護者からの援助金額』に使用

- 調査対象 | 2020年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2020』（※）にて募集した調査モニターに登録した学生6,371人（内訳：大学生5,247人/大学院生1,124人）
調査期間 | 2019年12月1日～12月4日
集計対象 | 大学生 1,091人/大学院生 375人
※リクナビ：株式会社リクルートキャリアが運営している、就職活動を支援するサイト
<https://job.rikunabi.com/2020/>

モニターの抽出条件

「卒業後の志望進路（志望する進路のすべて）」の回答状況をもとに、次の条件で対象を抽出

本調査対象 = 「就職意向者（就職志望者＋志望進路未決定者）」（※モニター募集時）

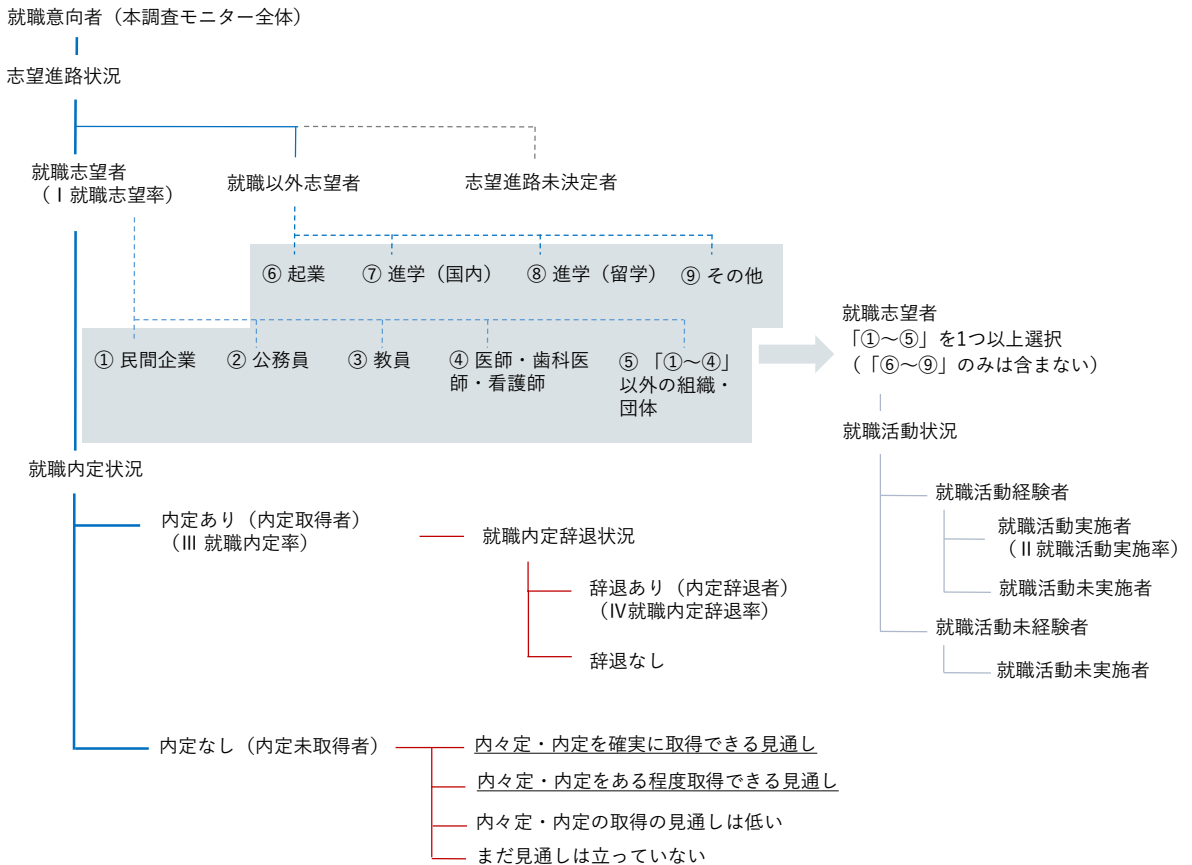
本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

調査結果を見る際の注意点

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある

就職志望者から見た内定状況の構図



<各率の算出方法> 【時点：「当該月1日時点」】

I 就職志望率	=	就職志望人数 ÷ 就職意向人数
II 就職活動実施率	=	就職活動実施人数 ÷ 就職志望人数
III 就職内定率	=	就職内定取得人数 ÷ 就職志望人数
IV 就職内定辞退率	=	就職内定辞退人数 ÷ 就職内定取得人数

<用語の定義>

● 就職意向者	=	当初 (本調査モニター募集時) の志望進路が「就職」および「未決定」者
● 就職志望者	=	当月、就職を志望している者
● 就職活動実施者	=	当月、就職活動を実施している者 (※)
● 就職活動経験者	=	当月までに就職活動の経験がある者
● 就職内定取得者	=	当月までに内定 (内々定) の取得経験のある者
● 就職内定未取得者	=	当月までに内定 (内々定) の取得経験がない者
● 進路確定者	=	当月、進路が確定している者
		進路確定率 = 進路確定人数 ÷ 就職意向人数
● 就職確定者	=	当月、就職先が確定している者
● 就職内定辞退者	=	当月までに内定 (内々定) の辞退経験がある者

<<地域区分の内訳>>

○ 北海道・東北	=	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
○ 関東	=	東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県
○ 中部	=	静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
○ 近畿	=	京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県
○ 中国・四国	=	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
○ 九州	=	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※就職活動実施状況について、「している」「していない」の選択肢のうち、「している」と回答した者